

D L Tライブラリ装置 PG-DLL402 取扱説明書補足

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。

本紙には製品使用時の注意事項を記載しておりますので、内容をご理解の上、正しくお使い頂きますようお願い申し上げます。 また、本紙は取扱説明書とともに保管して下さい。

1. クリーニングカートリッジの搭載について

本装置にクリーニングカートリッジを搭載する場合は、以下の点にご留意ください。

- (1) クリーニングカートリッジは、セル番号0 (装置正面から見て左側の一番手前) に入れて下さい。
クリーニングカートリッジは装置内に1巻のみ搭載できます。
- (2) データカートリッジは、セル番号1から搭載して下さい。

2. ドローワを開ける前にドライブからカートリッジをイジェクトしてください

以下の状態では、ライブラリ装置内のドライブにカートリッジがローディングされています。

- CAPからカートリッジ投入操作後、バックアップジョブが終了するまで。
- インベントリ動作後、バックアップジョブが終了するまで。

【ポイント】・バックアップジョブ設定時に、必ずバックアップジョブのオプション指定(「操作」タブ内)で、「バックアップ終了後の媒体のイジェクト」を指定して下さい。本オプションを指定することにより、バックアップジョブが終了した後、カートリッジがドライブからセルに戻されます。

・ARCserveでは、テープエンジン起動後にインベントリ動作(ライブラリ装置内の媒体搭載状態の確認処理)が行なわれます。「ライブラリのクイック初期化」を有効にした場合は、テープエンジン起動時にインベントリは行なわれません。

ドローワを開ける前にカートリッジをドライブからイジェクトしてください。

<カートリッジをドライブからイジェクトする方法>

ARCserveのデバイス管理画面でドライブを選択し、「デバイス管理」メニューまたは右クリックにて表示される「イジェクト」を実行して下さい。

ドライブにカートリッジが無い場合は、「ドライブにメディアがありません」が表示されます。

カートリッジがドライブに残った状態で、ドローワを開閉するとライブラリ装置内のカートリッジの搭載状態が正しく認識されない場合があります。この場合は、カートリッジを手動でドライブから取り出してセルに戻して下さい。

以上